

令和 6 年 10 月 1 日県土整備常任委員会

◆宇野裕 委員 御苦労さまでございます。それでは早速ですが、これまでも度々取り上げさせていただきました道路問題、道路問題について 3 点御質問させていただきます。

最初に、新湾岸道路について伺いをいたします。

新湾岸道路は、先ほど部長から諸般の報告であったとおり、8 月 2 日には有識者委員会が開催され、概略ルートや構造の検討が始まったとのことではありますが、新湾岸道路の計画の具体化に向けて、今後どのように検討が進められていくのか、よろしくお願いいたします。

◎説明者（横田道路計画課長） 道路計画課でございます。

8 月 2 日に開催されました有識者委員会でございます。これは、計画の具体化に向けた検討の進め方というのが示されたところでございます。これを受けて、県では国や沿線市と連携して、まずホームページを開設したところ、ホームページ、新湾岸道路の特設サイトを開設したところでございまして、また、今後はこれに続きニュースレターなどの様々な情報発信であるとか、オープンハウスの開催、また事業者とか各種団体への個別ヒアリング、アンケートの実施など、多岐にわたる関係者との丁寧な合意形成を目指して双方向のコミュニケーションを実施していくといったところで、それを今後開始することとしております。

以上でございます。

◆宇野裕 委員 ありがとうございます。早期完成に向けてぜひ頑張ってくださいと、エールを送りたいと思います。

次に、圏央道について伺いをさせていただきたいと思います。

圏央道の未開通区間となっております大栄ー横芝間は、昨年度に令和 6 年度の開通目標から令和 8 年度まで延期されてしまいました。圏央道の全線開通のこれ以上の遅れは絶対に許されないと私は思っております。開通目標まで残り 2 年程度であります、工事は順調に進んでいるのか確認したいと思います。よろしくお願いします。

◎説明者（横田道路計画課長） 道路計画課でございます。

圏央道の大栄ー横芝間の工事につきまして、事業者である国や高速道路会社に確認したところ、令和 8 年度までの開通に向けて全面的に工事が展開されておまして、順調に進んでいるといったところでございます。具体的に申し上げますと、昨年度遅延の原因とされました、仮称でございますが芝山トンネルにつきましては、本年 2 月にトンネルが貫通いたしました、現在トンネル内部を補強するコンクリート工事を実施しているといったところでございます。また、これも仮称でございますが、高谷川高架橋につきましては下部工事を今進めておりますが、これと並行して上部工の製作

についても今進めているといったところでございます。また、圏央道と銚子連絡道路が接続いたします松尾横芝インターチェンジにつきましては、8月にランプ橋の工事が完成しております、これも順調に計画どおり進めているといったところでございます。県としても、委員おっしゃるとおりこれ以上の遅れが生じないように事業進捗、工事の進捗状況の把握にしっかり進めていきたいというふうに思っております。

以上でございます。

◆宇野裕 委員      ありがとうございます。圏央道の令和8年度の開通は本当に守っていただきたいと思います。そして、令和8年度にこだわらずに、一日でも早い開通に努めるよう強く要望したいと思います。

3点目でございますが、これは地元にも大変大きな影響のあります銚子連絡道についてお伺いをさせていただきたいと思います。

この銚子連絡道、今までも再三申し上げてまいりました広域的な幹線道路網ネットワークにアクセスする道路だと認識しているところでございます。令和4年度に事業化された匝瑳市から旭市間については、現在道路の設計が進められているとともに、先月からルート沿線の地区や地権者の方を対象にした説明会が開催されていると伺っているところであります。地元の匝瑳市では銚子連絡道の整備を生かしたまちづくりが進められており、匝瑳市をはじめとする東総地域が今後さらに発展していくためには、まちづくりの骨格となる銚子連絡道の早期整備が大変重要であると考えているところであります。

そこで、銚子連絡道の匝瑳市から旭市間の取組状況をお伺いしたいと思います。よろしく願いいたします。

◎説明者（齊藤道路整備課長）      道路整備課でございます。

銚子連絡道の匝瑳―旭市間に関しては約13キロメートルございまして、現在道路であったりとか、橋梁の設計を行っているところでございます。このたび事業計画の説明と境界立会いに関しまして、先月の25日から、地元、12回に分けて説明会を行っているというところでございます。今後、地元の了解が得られたところから境界立会いを行ってまいりたいと考えておりますので、引き続き地元の御理解と御協力をいただきながら、事業をしっかりと進めてまいりたいというふうに思っております。

以上でございます。

◆宇野裕 委員      ありがとうございます。用地買収の着手に向けて着々と進んでいることがよく分かりました。銚子連絡道路の匝瑳市から旭市間は、事業延長が13キロメートルと長く、関係する地権者も大変多いと伺っておりますので、用地買収に向けては、まずは境界立会いを円滑に進めていただくよう要望したいと思います。

なぜこの境界立会いが大切かということをちょっとだけお話しさせていただきますと、この匝瑳市間の5キロ、ある区間においてなかなか理解が得られなくて境界の

立会いさえできなかった状態が長く続きました。それが、ある時期から一気に地元の理解を得られるようになりまして、境界立会いができるということになって、イコール買収に移行できたということの経験を私は地元で目の当たりにしておりますので、この境界立会い、大変重要でありますので、理解を得ながらやっていただきたいというふうに思います。

また、道路の問題については、先ほど来いろいろお話出ていますが、私の日頃の感情、思いをちょっと述べさせていただきたいと思います。道路というのは、国づくりにとっては大変重要であります。社会インフラの非常に重要な1つであるというふうに思っております。これは、投入して50年先、100年先、国家の、地域の、あるいは県の活力を生み出すには大変重要だというふうに思っております。資産として次の世代、次の次の世代に残っていくわけありますので、これは自信を持って推進をしていただきたいと申し上げまして、私の質問を終わりにしたいと思います。

以上です。